

「2021年度営業関係施策（その2）」について 提案を受ける！

東京地本は10月25日に、「2021年度営業関係施策（その2）」について会社より提案を受けました。その中で、松戸支部内にかかわる駅は我孫子駅と北千住駅の2駅です。

我孫子駅

ホーム体制の見直し（1日勤増、2徹減） 標準数：38名→33名

- ・ITV設置により、常磐快速線・成田線での**常時乗降終了合図**を見直す
会社「新設する日勤は送主に限らない。これまで担当している業務は出来る。」

北千住駅

販売体制の見直し（2徹1日勤減） 標準数：35名→27名

- ・話せる指定席券売機導入、出札窓口の臨時化、**改札体制の見直し**、**管理体制（営業助役）の見直し**
- ・現行MV3台のうち2台を話せる化。窓口は月頭月末などの定期多売期や三大輸送等に営業
- ・輸送主任は、立ち番以外は北改札で遺失等も対応。
会社「定期切り替えの時期などは臨時窓口を開けて対応する。」
「話せる券売機で出来る事は飛躍的に増えた。」

実施日：どちらも 2022年2月1日

新たな施策によって、安全レベルの低下・

お客様サービスの低下があってはならない！

社員の働きがいと、安心して働ける環境を求め、

現場から声を出そう！！